



Kinki Webcat ー 目録サポートチームからの紹介 ー

神山 貴子

I. はじめに

近畿病院図書室協議会では、会員間の相互利用を目的に、冊子体として「医学雑誌総合目録」「現行雑誌所在目録」、CD-ROM版で「会員所蔵雑誌目録」の作成、頒布を行ってきた。

しかし、ネット社会となった現在、新たな相互利用ツールとして、CD-ROM版で実現した会員機関の総合目録と ILL (Inter Library Loan: 図書館間相互貸借) の申込書作成を兼ねたシステムのオンライン化を図り、2006年8月、その稼働を果たした。

ここでは相互利用ツール「近畿病院図書室協議会 所蔵雑誌目録 Web 版 (Kinki Webcat)」の使用方法などを紹介し、より活発な利用および協議会内での相互利用促進を期待したい。

II. 目録サポートチームについて

Kinki Webcat 稼働に付帯する雑件処理および会員の窓口を担う部署が協議会内に必要であったが、当時目録を担当していた目録編集部は部員1名と人手不足であった。

そのため、研修会・勉強会などでその紹介、質問を受け付けていた研修部が参加し、目録編集部のサポートを行う「目録ワーキンググループ」をシステム稼働後の8月下旬に結成した。同ワーキンググループは2006年10月に開催された幹事会にて正式承認され、旧目録編集部を廃止し、新たに「目録サポートチーム」として発足した。メンバーには「東海目録 Web 版 (TOMcat)」の利用者も迎え、総勢7名となった。TOMcat

利用者の参加により、今後 TOMcat との連携が期待される。その後1名が脱退し、2007年4月現在6名がメンバーとなっている。

幹事会ではその活動内容も決定され、以下の範囲内で活動を行っている。

- ① Kinki Webcat についての質問への回答
- ② 書誌事項および所蔵データのチェック
- ③ Kinki Webcat の仕様についての検討

システム変更など、予算を伴う事項については随時幹事会での承認を得て実行している。2006年4月現在での活動実績は以下の通りである。

- 各機関へのデータ修正依頼
- 質問・回答の蓄積
- 検索時の全角半角区別による障害対応依頼
- 書誌データの整理
- 機関情報項目の整理
- 医中誌 Web へのリンク設定の連絡
- 問い合わせフォームの設置
- 書誌マスタ追加・修正窓口
- ログの表示
- その他

随時会員からの問い合わせや要望に対処しているほか、誤データの修正依頼などを行っている。

III. Kinki Webcat 使用法

会員間の相互利用が主な目的だが、希望する会員は所蔵データおよび機関情報の一部を一般にも公開できる。公開の設定については後述する。

ID とパスワードでログインすると会員サー

ビスを受けることができる。以降はログイン後を前提に紹介する。

1. Kinki Webcatサービス内容

(1)雑誌検索

雑誌検索は誌名・ISSN から検索できる。誌名は、正式雑誌名と異誌名を検索している。

所蔵がある雑誌は、その詳細と所蔵機関*の一覧が表示される。

ここで表示される機関名をクリックすると、各機関の情報が閲覧でき、ILL 申込書作成を行うことができる。

(2)機関検索

Kinki Webcat に登録されている機関を検索できる。機関名に検索語が入っている機関*の一覧が表示され、各機関の機関情報や所蔵データを閲覧できる。所蔵データから ILL 申込書を作成することもできる。

(3)管理

ここでは自機関のデータ管理を行う。

機関データは自機関での管理が原則である。より円滑な相互利用のためにも、各会員にはデータ管理の徹底を期待したい。

管理できるデータは以下の通りである。

- 機関情報修正
- 所蔵データ修正
- ILL 申込データダウンロード
- 所蔵データダウンロード
- 参加機関一覧ダウンロード
- 医中誌 Web への OPAC 設定ファイルダウンロード

機関情報修正、所蔵データ修正の入力方法・書式については、Kinki Webcat の [ヘルプ] や近畿病院図書館協議会ホームページ内「会員所蔵雑誌目録」のページで公開しているほか、各会員へもその入力例を配布しているので参考にしてもらいたい。

前述の一般公開への設定は「機関情報修正」で行うことができる。機関情報項目「ILL フラグ」を「受付可」とすることにより、一般への公開が可能となる。ILL フラグの詳細について

は、[ヘルプ] に記載されているので一読していただきたい。

i) ILL 申込データダウンロード

ILL 申込書作成ツールで作成したデータは Kinki Webcat のデータベースに蓄積されており、Microsoft Excel ワークシート形式でダウンロードできる。本システムをより頻繁に利用する事により、事務処理や統計への利用が見込まれる。

ii) 所蔵データダウンロード

所蔵データの一覧を Microsoft Excel ワークシート形式でダウンロードできる。自機関での目録用、登録データ確認用などに利用してもらいたい。

iii) 参加機関一覧ダウンロード

Kinki Webcat 参加機関の一覧を Microsoft Excel ワークシート形式でダウンロードできる。名簿や ILL 時の確認などに利用してもらいたい。

iv) 医中誌 OPAC 設定ファイル DL

医中誌 Web 設定用ファイルをテキストファイル形式でダウンロードできる。医中誌 Web (Ver. 4) の管理者用メニューでこのファイルを使用、設定すると医中誌 Web から Kinki Webcat へのリンクアイコンをつけることができる。設定の詳細については「ヘルプ」に掲載しているほか、前述した当協議会ホームページ内「会員所蔵雑誌目録」でも公開している。なお、このファイルは2年ごとの更新を予定しており、更新までの追加書誌については自館で追加してもらうことになる。

(4)ILL申込書作成・保存

相互利用には欠かせない ILL 申込書は前述の雑誌検索、機関検索結果(所蔵データ)のページから作成できる。

ここで作成したデータは Kinki Webcat のデータベースに蓄積され、各機関でダウンロードできる。ただし、ダウンロードできるのはデータのみで、申込書については再度作成しなければならない。申込書の保存には、「ILL 申込書保

存」ボタンを利用する**。

IV. Kinki Webcat の課題

稼働後の不具合などもだいたい改善されているが、データについてはまだまだ不備が見られる。今後も引き続きデータなどの修正が必要であるが、目録サポートチームだけでは手が回らない(目が届かない)所が多いため、会員からの積極的な指摘を期待したい。

目録サポートチームで現在着手している案件は以下の通り。

- 目録 HP コンテンツの見直し
 - 手引き (仮) の作成
 - ILL 申込書改訂
 - ILL 申込書書式の一般公開
 - 蓄積された Q & A のホームページ上での公開
- また、機関検索の機関コード対応や、オンライン書誌への対応、パスワード変更によるセキュリティ強化など、会員からの要望も数件寄せられており、随時検討していきたいと考えている。

今後も利用者から要望を募り、より使いやすいツールへと質を高めたい。どんなささいな事でも要望があれば目録サポートチームへ意見を寄せていただきたい。

V. ログ

2007年3月までの Kinki Webcat 利用状況を見ると、徐々にだが利用が上がっているように思われる (表1)。今後の活発な利用を期待し

たい。

表1. 利用ログ

年/月	トップページ	雑誌検索	機関検索
200608	3,934	7,245	2,257
200609	2,759	7,476	1,460
200610	2,597	6,862	1,086
200611	2,335	6,331	1,005
200612	2,412	6,536	1,317
200701	2,981	8,682	873
200702	3,266	11,323	1,174
200703	4,166	10,582	1,563

VI. 最後に

平成18年度第33回総会で配布された「図書室 年次統計調査報告書 (平成17年度)」を見ると、相互貸借における会員機関への依頼は年々減少し、かつ、その割合も全依頼先の2割を切っている。

病院図書館は一人職場も多く、日常業務に追われ相互貸借はおろそかになりがちかもしれないが、このシステムを活用することで、依頼側、受付側双方の相互貸借にかかる負担を減らし、相互利用について会員間の意識を高めていただけたらと思う。

(脚注)* 一般ユーザーが閲覧できる機関は公開している機関のみ。

(脚注)** 作成されたファイルがうまく表示されない場合は、保存後拡張子を「fdf」に変更すると表示される事がある。